

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	建築外皮の多角的性能小委員会		主 査 名：長谷川 巖 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)		委員長名：持田 灯 主 査 名：長井 達夫
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度：業務系建物における、建築外皮に求められるべき性能や配慮事項を総合的に整理し、情報収集とともに性能に見合った外皮仕様についての検討</li> <li>・2 年度：建築主や設計者へ情報提供するための、外皮性能と仕様を整理し、具体的な検討事例とともに、シンポジウム等で公表を行う。</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：長谷川巖 (日建設計)、幹事：佐々木邦治 (丸の内熱供給)、委員：郡公子 (宇都宮大学)、望月悦子 (千葉工業大学)、山口温 (関東学院大学)、高田 暁 (神戸大学)、佐伯美奈子 (アール・アイ・エー)、高井啓明 (竹中工務店)、川島範久 (東京工業大学)、高瀬幸造 (東京理科大学)、佐々木真人 (日本設計)、館景士郎 (日建設計)、中村駿介 (三菱地所設計)、木下泰斗 (日本板硝子)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2019 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	シンポジウム：2021 年 3 月開催予定 「(仮) 建築外皮の多角的性能評価」 (建築のさらなる快適性と省エネルギーに向けて) 参加者数 50 名(募集人員) (資料名) 同上講演資料
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全 5 回に亘る小委員会開催をし、このうち 2 回、協会の方を招致しガラス及びサッシュに関する最新の知見の情報収集を行った。</li> <li>2. 初年度の活動として、小委員会の活動方針と、業務系建物における、特に ZEB において建築外皮に求められるべき性能や配慮事項について討議した。</li> </ol>
委員会活動の問題点 ・課題	なし

## 2019年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>本小委員会を5回開催し、外皮性能にかかわる情報収集と外皮性能評価に関わる評価のあり方について討議を行った。</p> <p>各回小委員会の主な話題提供と討議内容</p> <p>■第1回 2019/5/27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度に開催した「シンポジウム 多角的な視点から見た今後の外皮性能のあり方」の意見交換</li> <li>・活動方針案の議論</li> <li>・窓廻り要素のパラメーターと評価について</li> </ul> <p>■第2回 2019/7/8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「硝子の性能向上の歴史と今後の展望」板硝子協会 木下氏による情報収集</li> <li>・SDGs アンケート調査による本小委員会における貢献を議論</li> </ul> <p>■第3回 2019/9/12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「樹脂窓の変遷・最新潮流」日本サッシ協会、塩ビ樹脂協会、YKK AP 倉田氏、YKK AP 八木氏による情報収集</li> <li>・次年度活動計画（シンポジウムの開催）について議論</li> </ul> <p>■第4回 2019/11/19</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築外皮の多角的な評価方法について議論</li> <li>・BIM やコンピュータグラフィックも踏まえた、ZEB を意識した外装計画、ISO 等規格整理、外装デザインや CLT との組み合わせ等事例収集、ブラインドに限らない輝度調整の事例収集などの作業分担を議論</li> </ul> <p>■第5回 2020/1/21</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱と光の建築外皮の多角的な評価方法について議論</li> <li>・ZEB において建築外皮に求められるべき性能について議論し、ZEB における建築外皮性能の事例収集を行う方針とした。</li> </ul>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。